広島市立大河小学校　第５学年　国語科年間指導計画

目標

（１）目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などを的確に話すことや相手の意図をつかみながら聞くことができるようにするとともに、計画的に話し合おうとする態度を育てる。

（２）目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにすると共に、効果的に表現しようとする態度を育てる。

（３）目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

	単元・題材名	主な学習内容
前期	**一 表現の工夫を考えながら声を出して読もう** だいじょうぶだいじょうぶ 水のこころ 山頂から	●物語では登場人物の信条や場面の情景を、詩では情景や作者の思いを、表現の工夫や言葉のリズムを味わいながら読み取り、聞き手に伝わるように工夫して音読します。
	☆言葉の種類に気をつけよう	●言葉の種類（品詞）の違いや働きを理解し、文中で使います。
	二 自分の考えを伝えるスピーチをしよう。 伝え合おう、5年生でがんばりたいこと	●5年生で頑張りたいことを、自分の思いや考えが伝わるように工夫してスピーチをします。
	☆質問の手紙を書こう	●質問の手紙を、相手や内容に応じて書きます。
	☆国語辞典を活用しよう	●国語辞典の仕組みと使い方を理解し進んで活用します。
	三 文章の仕組みを考えながら 動物の体	●説明文を読んでその文章の構成をとらえ、内容を読み取ります。
	☆会話をはずませよう	●相手の話をよく聞いて、会話を成り立たせることができる。
	☆漢字の由来に関心を持とう	●漢字の由来や、「象形」「指事」「会意」「形声」の四つの漢字の成り立ちを理解し漢字に関心を持ちます。
	四 強く心の残ったことを考えながら読もう	●登場人物の心情の変化や場面の様子などをとらえ、最も強く心に残ったことを自分なりの言葉で表します。
	☆相手や目的を考えて	●相手や目的を考えて、必要な事柄を整理して書きます。
	五 話の組み立てをくふうして	●取材したことや考えたことを聞き手に分かるように組み立ててニュースとして話したり、聞き手として話し手の意図を考えながら聞いたりします。
	☆方言と共通語	●方言と共通語の特徴を理解し，必要に応じて使い分けます。
後期	**一 人間の生き方をえがいた作品を読もう** マザーテレサ	●伝記を読んで人間の生き方について考え、本のカバーを作って紹介します。
	☆一まいの地図から	●絵地図を見て想像したことを、表現を工夫して物語に書くことができる。
	二 いろいろな環境問題について調べよう 森林のおくりもの	●題名や文章の組み立て、表現の工夫などに注意して筆者の考えを読み、森林・環境問題で興味を持ったことについて様々な資料で調べ、「ブックガイド」にまとめます。
	☆敬語を適切に使おう	●三種類の敬語のそれぞれの違いや働きを知り、敬語の適切な使い方を理解します。
	三 様々な角度から考えて書こう	●生活の中の通信手段の良さや問題点について、考えを整理した筋道をあて文章を書きます。
	☆動詞にそえて使うことばに目を向けよう	●動詞に意味を添える補助動詞の働きを知り、それぞれの補助動詞の意味を理解します。
	四 身近な生活について討論しよう インスタント食品とわたしたちの生活	●文章の組み立てに気を付けて内容をとらえ、身近な問題について、理由や根拠を明確に示して討論します。
	☆短歌と俳句を味わおう	●日本の伝統的な詩歌である短歌と俳句のそれぞれの形式のちがいを理解し、季節感のある言葉や表現を読み味わうことができる。
	五 表現のおもしろさを考えよう 注文の多い料理店	●表現の工夫や登場人物の気持ちの変化について考え、最も強く心に残ったことを紹介します。
	☆熟語の意味を考えよう	●熟語の構成から二字熟語の意味を推測できることを知り、その推測の仕方を理解します。
	六 題材や表現に注意して 昔話をしょうかいしよう	●さまざまな昔話を読み、昔話について調べたことを書いたり、「語り」を工夫したりします。